

目次

口 絵
発刊にあたって

凡 例
はじめに

第一章 社会生活

第一節 町組と役員

一 組

(一) 絵図にみる上松宿

(二) 上松宿の村役人

(三) 町組の特色(宿全体)

(四) シ (各町別)

(五) 昭和十三年ごろの町組

二 組の運営(上町区)

(一) 上町の役員

(二) 伝承されてきた行事

○お日待 ○常夜灯送り ○夜まわり ○大掃除

⑤いいつき ⑥共同井戸 ⑦その他

三 手間がわりとおんまい

四 年齢集団

15 14 10 9 9 8 5 4 1 1 1 1 1

第二節 共有財産など

一 土 地

(一) 共有地について

(二) 上松の共有地

(三) 官行造林

二 共有財産に対する権利

(一) 共有地の戸数割について

(二) 共有財産に対する権利

(三) 荻原地区の両墓制

第二章 交通 運輸 通信 交易

第一節 村の交通路

一 道

(一) 中山道と国道に沿って

(二) 島から小川沿いに西中 西奥方面へ

(三) 東里から駒ヶ岳方面へ

(四) 越立峠へ向かう信者の道

(五) 寝覚から吉野への道

(六) 上町 瀬木から高山方面へ

(七) 荻原から東野へ

二 橋

(一) 渡し場と筏 船(くり船)

第二節 運搬 運輸

40 36 34 34 33 32 32 31 30 28 28 27 27 23 22 22 22 20 19 18 18 18 17 15

一 運搬具	40
二 持子	41
三 強力	42
四 馬による運搬	42
五 交通機関	44
(一) 人力車	44
(二) 自動車	44
(三) 鉄道	45
(四) 森林鉄道	46
第三節 通信	48
一 郵便	48
二 電報 電話	49
第四節 交易	50
一 物物交換	50
二 行商	50
三 市取引(馬市)	51
第三章 衣食住	53
第一節 衣	53
一 衣料	53
二 衣類	53
三 手や腕の保護	54
四 足の保護はばき	55
五 はきもの	55
六 雪具 雨具等	57

七 寝具 こたつ	58
第二節 食	59
一 主食	59
(一) 米	59
(二) 畑作物(オカモノ)	60
二 調味料 水	61
三 漬物	62
四 祝月日のおもな食べ物	63
五 野山で採って食べられるもの	64
六 ケカチ(飢渴)食	65
七 食習慣	65
第三節 住——建築と居住習俗	66
一 民家の造り	66
二 建築儀礼	68
三 民家の間どり	69
(一) 立町 倉本方面の民家	69
(二) 農村部の民家	70
(三) 宿場の民家	72
(四) その他特徴のある民家	73
四 附属建物	78
五 屋根がえし	78
六 灯 火	79
第四章 人の一生(通過儀礼)	81
第一節 上松の結婚	81

一	縁組	81
二	酒入れ	81
三	結納	81
四	荷運び	82
五	足入れ	82
六	嫁迎え(嫁入り)	82
七	盃ごと(結婚式)	83
八	ふるまい(披露宴)	83
九	挨拶まわり	84
十	その他	84
十一	昔行われた嫁盗みの風習について	84
第二節 妊娠と出産		
一	妊娠	85
二	出産	85
三	育児	86
(一)	三つ目のだんご	86
(二)	お七夜の赤飯(七夜)	86
(三)	命名	86
(四)	お宮参り	86
(五)	お食い初め	87
(六)	子守り	87
四	成長にともなう儀礼	87
(一)	初誕生	87
(二)	初節句	87
(三)	七五三のお祝い	88

(四)	長寿の年祝い	88
(五)	厄年	88
(六)	徴兵検査(兵隊検査)(成人式)	88
(七)	成人式	89
第三節 上松の葬儀(主として町部について)		
一	臨終	90
二	死亡	90
三	安置	90
四	枕飾り	91
五	枕経	91
六	喪主と親族の打ち合せ(計画)	91
七	お通夜	92
八	納棺	93
九	火葬場へ	93
十	葬儀準備	94
(一)	準備品	94
(二)	近所隣組での準備	95
(三)	近所隣組の女衆の手伝い	97
十一	火葬場から帰って	98
十二	葬式(寺が会場の場合)	98
(一)	葬式	98
(二)	墓での埋葬	100
(三)	葬儀の翌日	100
十三	供養	101
(一)	初七日の法要(開蓮忌)	101

(一)	七日さらし	101
(二)	三十五日の法要	101
(三)	四十九日の法要	101
(四)	新盆(あらぼん)	101
(五)	年忌	102

第五章 信 仰

第一節 神 社

一	神について	103
二	神体と神像について	103
三	神社について	104
四	四氏神社(うじがみしゃ)	104
五	産土神社(うぶすながみしゃ)	105
六	鎮守神社(ちんじゆがみしゃ)	105

第二節 上松町で多い神社

一	山神社(やまのかみしゃ)	105
二	二氏神社(うじがみしゃ)	105
三	八幡神社	106
四	稲荷神社	106
五	津島神社(牛頭天王社)	106
六	秋葉神社	107
七	サイ(エ)の神	107

第三節 上松のそれぞれの神社

(沓掛 棧地区)	八幡神社	112
----------	------	-----

津島神社	113
稲荷神社	113
山神社	113
伴僧坊大権現	113
駒ヶ岳神社	114
覚明霊神	114
(漆脇地区)	114
漆脇神社(八幡社)	114
(池島 木賊地区)	116
池島神社(氏神社)	116
八幡大明神	117
(旭町 正島地区)	117
稲荷社(伏見)○水神社	117
木之霊神社	119
大山祇神社	120
(上町 瀬木地区)	120
八幡神社	120
津島神社	124
五光稲荷社(ごこういなり)	124
山神社	124
金比羅神社(三社)	124
愛宕神社	126
水神社	126
稲荷社	126
(本町 仲町 下町地区)	127

天神社(天満宮).....	127
成田不動明王社.....	130
津島神社.....	131
七面社.....	131
秋葉神社.....	132
稲荷社(伏見).....	132
稲荷社(豊川).....	133
秋葉神社.....	133
稲荷社(豊川).....	134
天狗社.....	134
〈観音 宮前 栄町地区〉.....	134
津島神社.....	134
水天宮○水神(石造).....	134
諏訪神社.....	135
五社神社.....	138
津島神社 秋葉神社.....	140
〈見帰 寝覚地区〉.....	140
氏神社.....	140
稲荷社.....	140
氏神社.....	140
氏神社.....	140
山神社.....	141
稲荷社.....	141
津島神社.....	141
氏神社 八幡神社.....	141

山神社.....	141
津島神社 天照皇大神社.....	142
山神社(桂大樹の側).....	142
大宮神社.....	142
津島社(境内社).....	144
秋葉神社○愛宕神社○三峯神社.....	145
三徳稲荷社.....	145
〈小脇 高山 馬留 芦島地区〉.....	145
小脇神社(津島社).....	145
諏訪社.....	146
山神社.....	146
稲荷社(豊川).....	146
高山八幡宮.....	146
氏神社(五社).....	147
氏神社.....	147
馬留神社.....	147
芦島神社.....	148
山神社.....	149
御社貢寺社.....	149
氏神社○三社.....	149
金山神社(通称金山様).....	149
氏神社二社○山神社○津島神社.....	150
〈大木 樽沢 奈良地区〉.....	150
氏神社○山神社.....	150
氏神社○山神社.....	150
氏神社○山神社○不明社.....	150

氏神社	150
氏神社	151
氏神社	151
津島神社	151
〈古宮 徳原 野尻地区〉	151
駒ヶ嶽神社(里宮)	151
皇大神宮○戸隠神社○津島神社	154
稲荷社	154
大神宮社○八幡社○稲荷社○山神社	154
氏神社○山神社	154
春日大明神社○天照大神社○津島神社○秋葉社	155
駒ヶ岳神社	155
不動明王社	155
〈駒ヶ嶽地区〉	156
駒ヶ嶽神社	156
〈神田 野口地区〉	157
駒嶽神社(神田大神宮)	157
山神社○稲荷社	157
津島神社	158
氏神社	158
津島神社	158
氏神社	159
氏神社	159
氏神社	160
氏神社	160

氏神社	160
〈近所 尾崎地区〉	161
駒嶽神社(近所神社)	161
山神社	161
津島神社	161
氏神社	162
山神社	162
氏神社	162
津島神社	163
〈小路方 床地区〉	163
小路方大神宮	163
氏神社(宮本家)	163
氏神社(宮本家)	163
山神社	163
山神社	164
〈島 上野 北野地区〉	165
若宮神社	165
嶋産土神社○大山祇社	167
御嶽神社	168
氏神社	168
氏神社	169
〈小田野 最中地区〉	169
伊勢神宮(御伊勢様)	169
氏神社○三峰神社○山神社○津島神社(四社)	170
氏神社	171

山神社○津島社	172
氏神社	172
〔新田 灰沢 大畑地区〕	172
氏神社	172
山神社	172
山神社	172
氏神社	173
山神社	173
駒嶽神社(大畑神社)	173
〔田口 留 高倉 下島地区〕	175
八王子神社	175
御岳神社	175
五社神社	175
津島神社	175
山神社	175
五社様	176
津島神社○大宮神社○秋葉神社○稲荷神社	176
氏神社	176
高倉の宮○八幡神社○姫宮社○若宮社	176
津島神社○三峯神社○山神社	179
金比羅神社	179
三峯神社	179
山神社	180
〔焼笹 山室 巾の津地区〕	180
津島神社	180

山神社	180
明神社(山室大明神社)	180
山神社	181
三峯社	182
三峯社	182
水神社	182
〔才児 姫宮赤沢地区〕	182
三峯神社	182
御嶽神社	182
小中尾神社	183
姫宮神社	183
皇大神宮○豊受神宮○大山祇社	186
〔吉野 小野地区〕	189
熊野神社	189
津島神社	192
紀の宮神社	192
権現社	193
山神社	193
氏神社	193
山神社	193
御嶽神社	193
氏神社	194
水天宮	195
山神社	195
不動明王社	196

皇太神宮	209
天満宮	209
御嶽神社	209
神明神社	204
〈立町地区〉	204
姫神社(若宮社)	204
山神社	204
津島神社(天王社) ○鹿島神社	203
山神社	203
串ヶ下主水社	203
八王子神社	203
秋葉神社	202
七面社	202
天満宮	202
山神社	202
山神社	202
山神社	202
山神社	202
山神社	201
山神社	201
皇太神宮	201
氣比神社	200
津島神社(天王様)	200
鹿島神社 ○香取神社	196
〈荻原地区〉	196

弁才天堂	241
寢覚山臨川寺	238
〈寢覚〉	238
聖岩山玉林院	229
〈本町〉	229
馬頭観音堂	228
〈沓掛〉	228
一 上松町の寺堂	228
第四節 上松のお寺 お堂	228
金刀比羅宮	213
山神社	212
山神社(石神)	212
山神社	212
山神社(石神)	212
山神社	212
山神社	211
山神社	211
○蚕玉神社 ○豊川社 ○稲荷社	210
○大社神社 ○駒嶽神社 ○三峯神社 ○秋葉神社	210
津島神社(天王様) ○熊野神社 ○神明神社 ○大宮神社	210
〈倉本地区〉	210
山神社	210
津島神社	210
秋葉神社 ○稲荷神社 ○半僧坊社	209
社護寿社	209
五社神社	209

浦島堂	242
〈荒田 高山〉	244
庚申堂	244
十三仏堂	244
〈神田 野中〉	245
庚申堂	245
賢龍山儀正院	245
〈島 北野〉	246
東川山持福院	246
大鏡山泉藏院	247
庚申堂	248
薬師堂(寺沢薬師)	248
〈林の平 最中〉	249
観音堂	249
地藏堂	249
〈灰沢 高倉〉	249
灰沢薬師堂	249
庚申堂	249
〈焼笹 才児〉	250
地藏堂	250
庚申堂	250
地藏堂	250
観音堂	250
〈小野 小野ヶ谷〉	250
船伏山観音堂	250

第五節 上松の念仏

小野ヶ谷観音堂(小堂)	251
〈荻原 東野〉	252
経堂	252
観音堂(大非殿)	252
照谷山阿弥陀堂	253
〈立町 倉本〉	257
御堂	257
奉鐔堂	258
倉本観音堂	259
池の尻积迦堂	260
二 上松町で失われた寺堂	261
十王堂	261
弘法堂	261
岩本院	262
薬師堂	262
観音堂	262
尾崎弘法堂	262
阿弥陀堂	263
妙見山久保寺	263
多願堂(地藏堂)	264
竹林庵	264
弘法堂	264
第五節 上松の念仏	270

第六章 民俗知識……………285

第一節 俗信(呪術)……………285

一 上松における「おまじない」と、病い治療の薬について……………285

二 上松における俚諺(ことわざ)……………292

第七章 上松町の年中行事……………295

第八章 口頭伝承……………327

第一節 上松町の民話と伝説……………327

まえがき……………327

〈上条地区〉……………337

〈町部〉(上町より)……………362

〈見婦 寝覚〉……………387

〈東小川〉……………406

〈西小川〉……………423

〈吉野 小野〉……………459

〈荻原 東野〉……………466

〈立町 倉本〉……………473

第二節 附録 上松の奇人 宮下太郎兵衛伝……………482

一 はじめに……………482

二 学校と教育に関する話……………484

三 奇行 その他……………486

第三節 上松の民謡……………493

一分 類……………493

(一) 田 唄……………493

(二) 庭 唄……………493

(三) 山 唄……………493

(四) 海 唄……………494

(五) 業 唄……………494

(六) 路 唄……………494

(七) 祝い 唄……………494

(八) 祭り 唄……………494

(九) 遊び 唄……………494

(十) 童 唄……………494

二 木曾 踊……………495

三 木曾の祝唄——上松高い山……………498

四 上松地搦唄(どうづきうた)……………501

五 上松大根種……………502

六 吉野草刈り唄……………502

七 甚 句……………503

八 木曾名所甚句……………504

九 上松木遣唄……………505

十 須原ばねそ……………507

十一 童 唄……………508

(一) 手まり唄……………508

(二) お手玉遊び唄……………510

(三) 竹の棒あそび……………511

(四) 遊び 唄……………511

(五) ゆび遊……………515

十二 子守り唄	515
おわりに	515

第九章 方言

一 方言とは何か	517
二 上松の方言の特徴	517
三 調査研究	517
四 上松の方言	517
終わりに	533

参考文献

- 上松町誌編纂委員会
町誌編纂専門委員会（執筆者）
資料提供など協力者
合唱の収録協力者
あとがき